

ARCHION

CARRYING TOMORROW

TSE: 543A

2025年(2026年3月期) 決算発表 & 2026年度 見通し

2026年5月14日



- 本資料は、ARCHION株式会社（以下「当社」）により作成されたものです。本資料は情報提供のみを目的として提供されるものであり、事前に当社の書面による承諾を得ることなく、本資料その全部または一部を複製、開示、転送または第三者に配布することはできません。
- 本資料は、有価証券の売却の申込み、購入の勧誘、または投資活動への勧誘もしくは誘因を構成するものではありません。
- 当社は、三菱ふそうトラック・バス株式会社（以下「三菱ふそう」または「MFTBC」）と日野自動車株式会社（以下「日野」または「日野自動車」）との経営統合（以下「本経営統合」）の完了を受け、2026年4月1日に事業を開始しました。2026年4月1日より前において、当社には事業運営実績はなく、重要な資産または負債も保有しておらず、当社設立および本経営統合の実行に付随する活動以外の重要な事業活動は行っておりませんでした。したがって、2026年3月31日時点またはその他いかなる時点において、当社の過去の連結財務諸表は作成されておりません。
- 三菱ふそうに係る財務諸表および財務情報（未監査）は、三菱ふそうの主要財務諸表作成基準である国際財務報告基準（以下「IFRS」）に基づき作成されています。一方、日野に係る財務諸表および財務情報は、日野の主要財務諸表作成基準である日本において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準（以下「日本基準」）に基づき作成されています。本資料には、本経営統合の効果を反映した、当社の未監査のプロフォーマ財務情報も含まれています。当該未監査のプロフォーマ財務情報は、本経営統合に関する一定の調整、仮定および暫定的な見積り、ならびに会計基準の差異、会計方針の適用および決算期の差異に関する調整に基づいて作成されています。プロフォーマ財務情報の作成および表示に関する詳細については、本資料中の脚注および付録をご参照ください。当該未監査のプロフォーマ調整は、入手可能な情報および当社経営陣が合理的と考える一定の仮定に基づいていますが、当該未監査のプロフォーマ財務情報は、当該期間またはいかなる期間における当社の実際の過去の業績、財政状態、または本経営統合により実現したシナジー効果を示すことを意図したものではありません。
- 本資料には、財務予測その他の将来見通しに関する情報が含まれていますが、これらは情報提供のみを目的として記載されています。当社は、将来の事業活動、業績、事象および状況に関して、[「想定」「予想」「計画」「戦略」「予測」「見通し」「可能性」]等の表現、またはこれらに類似する表現を使用する場合がありますが、すべての場合においてこれらに限定されるものではありません。当社またはその関係会社、ならびにそれらの役員、従業員または代理人は、これらの予測その他の将来見通しに関する情報の達成可能性もしくは合理性について、明示または黙示を問わず、いかなる表明または保証も行わないものとします。また、法令または規制により求められる場合を除き、当社は、これらの情報を更新する義務を負うものではありません。さらに、これらの予測情報は、IFRSまたは日本基準に準拠して作成されたものではなく、当社の独立した会計監査人による監査も受けておりません。本資料に含まれるすべての将来予測情報は、暫定的かつ本質的に不確実性を伴うものであり、変更される可能性があり、実現しない可能性のある仮定に基づいています。したがって、予測対象期間における当社の最終的な業績が、これらの見積もりと大きく異なることの保証はありません。
- 本書面等に掲載されている画像の一部は、生成系人工知能（「AI」）ツールを用いて生成またはデジタル加工されたものを含みます

説明内容

日野自動車 2025年度 連結決算実績(J-GAAP)

アーチオン 27年3月期 連結決算通期見通し(IFRS)

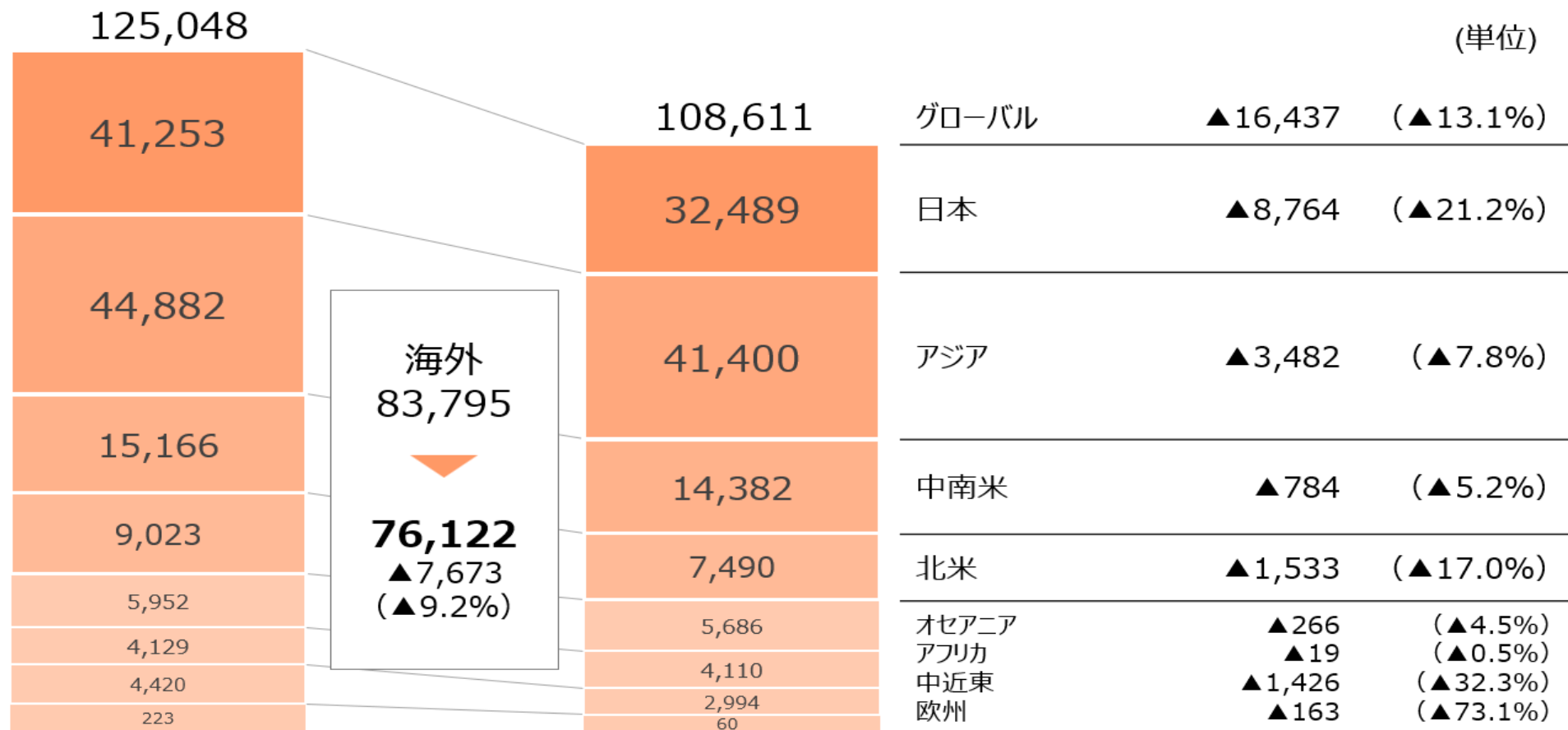
参考資料

2025年度 決算トピックス (J-GAAP)

	24年度	25年度	増減
販売台数	グローバル販売台数 125.0 千台	グローバル販売台数 108.6 千台	▲16.4 千台 <▲13.1%>
売上高	16,972 億円	15,653 億円	▲1,319 億円 <▲7.8%>
営業利益	(3.4%) 575 億円	(5.2%) 821 億円	+246 億円 <+42.7%>
当期純利益	▲2,178 億円	844 億円	+3,022 億円 > 北米認証関連等 (前期▲2,584億円 → 当期▲369億円) > 繰延税金資産の計上 (+492億円)

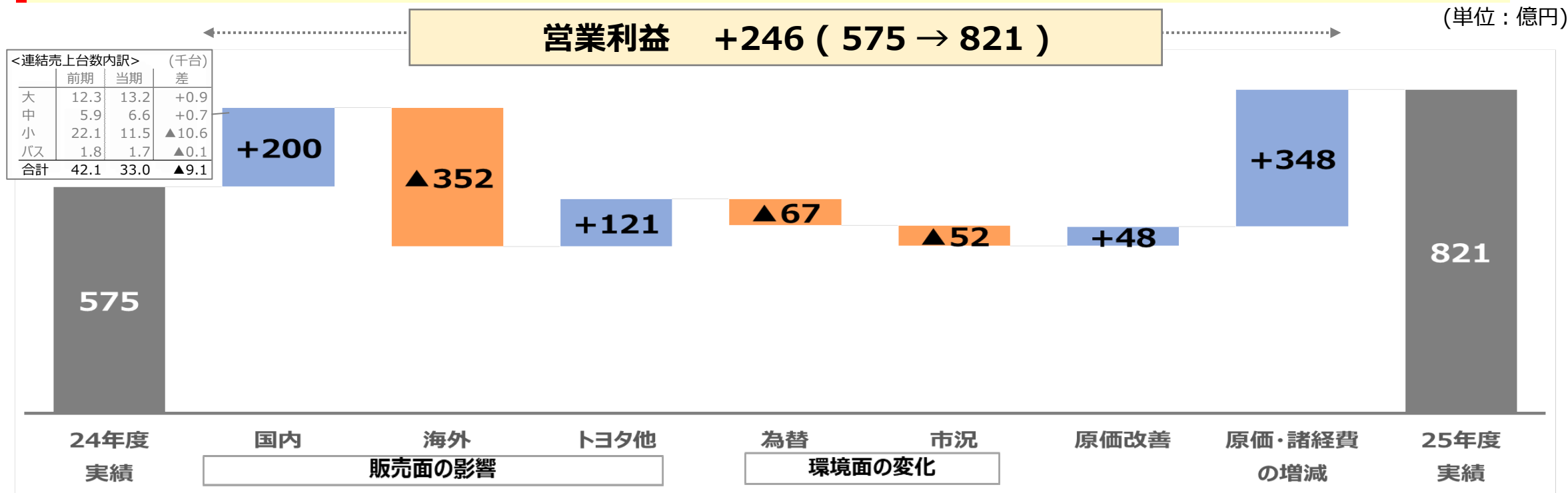
グローバル販売台数（地域別総台数）

- ・グローバル販売台数は108.6千台 前年比▲16.4千台（国内▲8.7千台 海外▲7.7千台）
- ・国内は小型トラックの出荷遅れによる減少を主因に、海外は主要市場のアジアを中心に台数減



連結営業利益の変動要因 [対 前期実績]

・海外台数減少の影響があるものの、国内事業及びトヨタ事業の増益や諸経費の大幅な減少により、増益

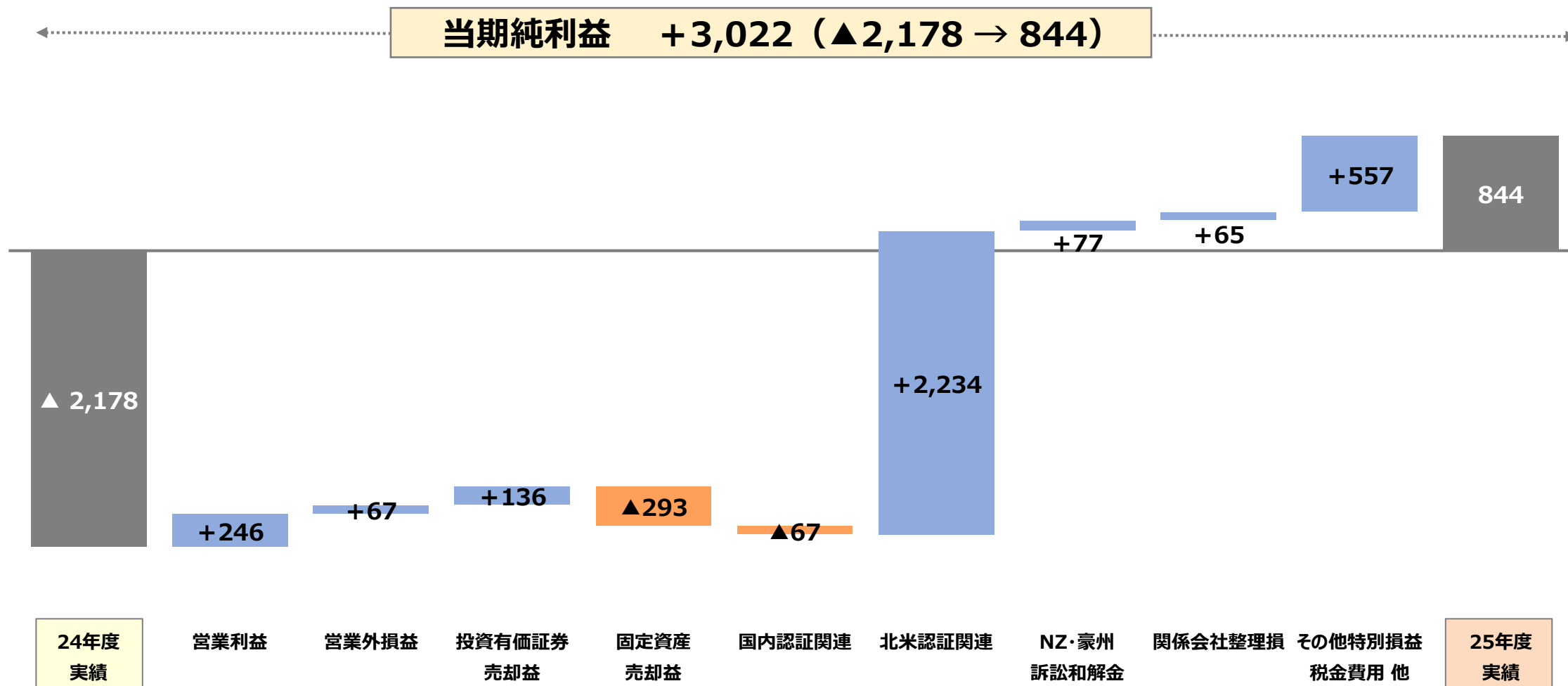


<連結売上台数内訳> (千台)

	前期	当期	差
大	12.3	13.2	+0.9
中	5.9	6.6	+0.7
小	22.1	11.5	▲10.6
バス	1.8	1.7	▲0.1
合計	42.1	33.0	▲9.1

国内		海外		トヨタ他		為替 (4-3月)		市況		原価改善		原価・諸経費の増減(+ : 益、▲ : 損)			
台数	▲10	台数	▲430	車両	▲4	USD <153 → 150>	▲28	新規	+33	資材費	▲13	<一時費用>	+209	<継続費用>	+149
価格	+112	価格	+69	海外工社	+104	IDR <0.96 → 0.90>	▲31	波及	▲90	物流	+20	品質費用	+53	品質費用	+104
TS	+98	TS	+9	仕入先	+21	THB <4.38 → 4.62>	+14	子会社	+5	工場(波及含む)	+21	北米認証関連費用	+135	子会社固定費	+51
						AUD <101 → 96>	▲25			子会社	+20	その他	+21	その他経費	▲6
						他	+3					<原価変動>	▲10		
						現法固定費	-					稼働ロス	▲10		
	+200		▲352		+121		▲67		▲52		+48				+348

連結当期純利益の変動要因 [対 前期実績]



説明内容

日野自動車 2025年度 連結決算実績(J-GAAP)

ARCHION 2026年度連結見通し対2025年度プロフォーマ (IFRS)

1. 事業概要

2. 通期見通し

参考資料

2026年度を強かに始動 –

お客様に最高の製品をお届けし、ARCHIONの未来を共に築いていきます

証券コード: 543A



東証プライム市場への上場、**ARCHIONグループにとって新たな出発となった**

組織づくり



人をつなぎ、文化をつくる
ARCHIONグループの旅が始まる

シナジーの強化



部門横断チームが、**シナジー効果の実現に向けた取り組み**を具体化開始

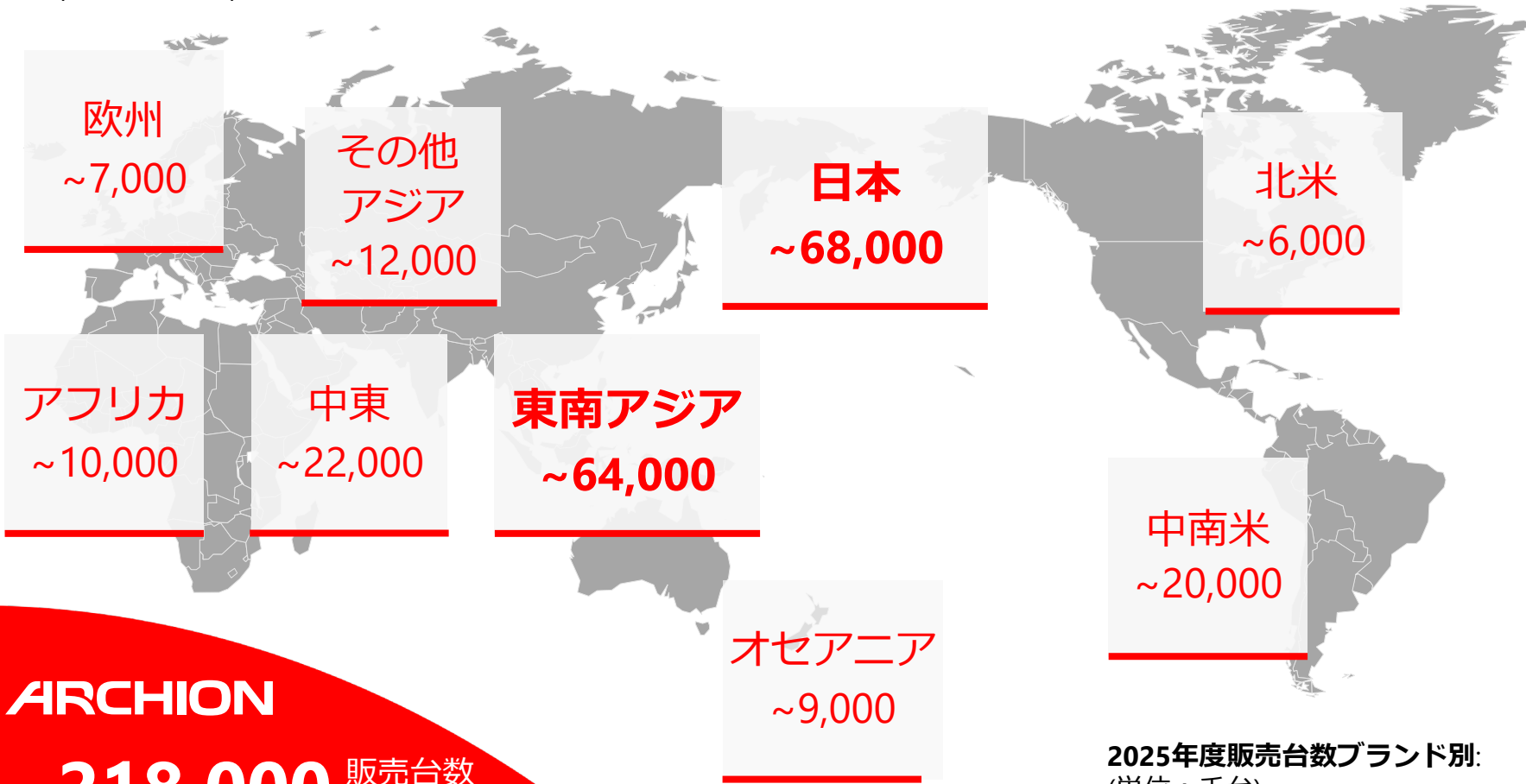
新モデル投入



統合プラットフォームに向けての第一歩
ふそうの新中型トラック
日野の電動小型トラック

ARCHIONは主要市場で確固たる地位を築いており、成長地域において強みを発揮している

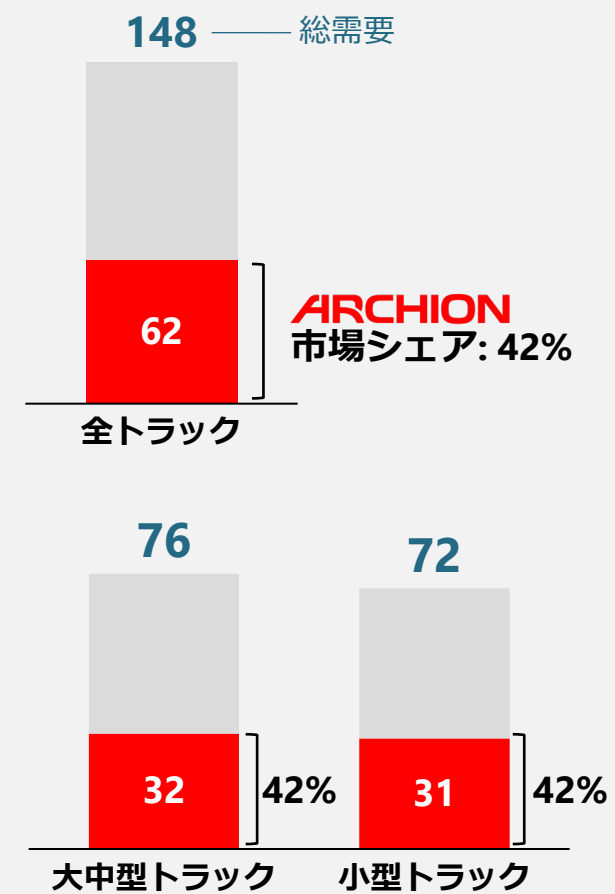
2025年度販売台数 (トラック・バス >3.5t)
(連結売上台数)



ARCHION
~218,000 販売台数
(2025年度)



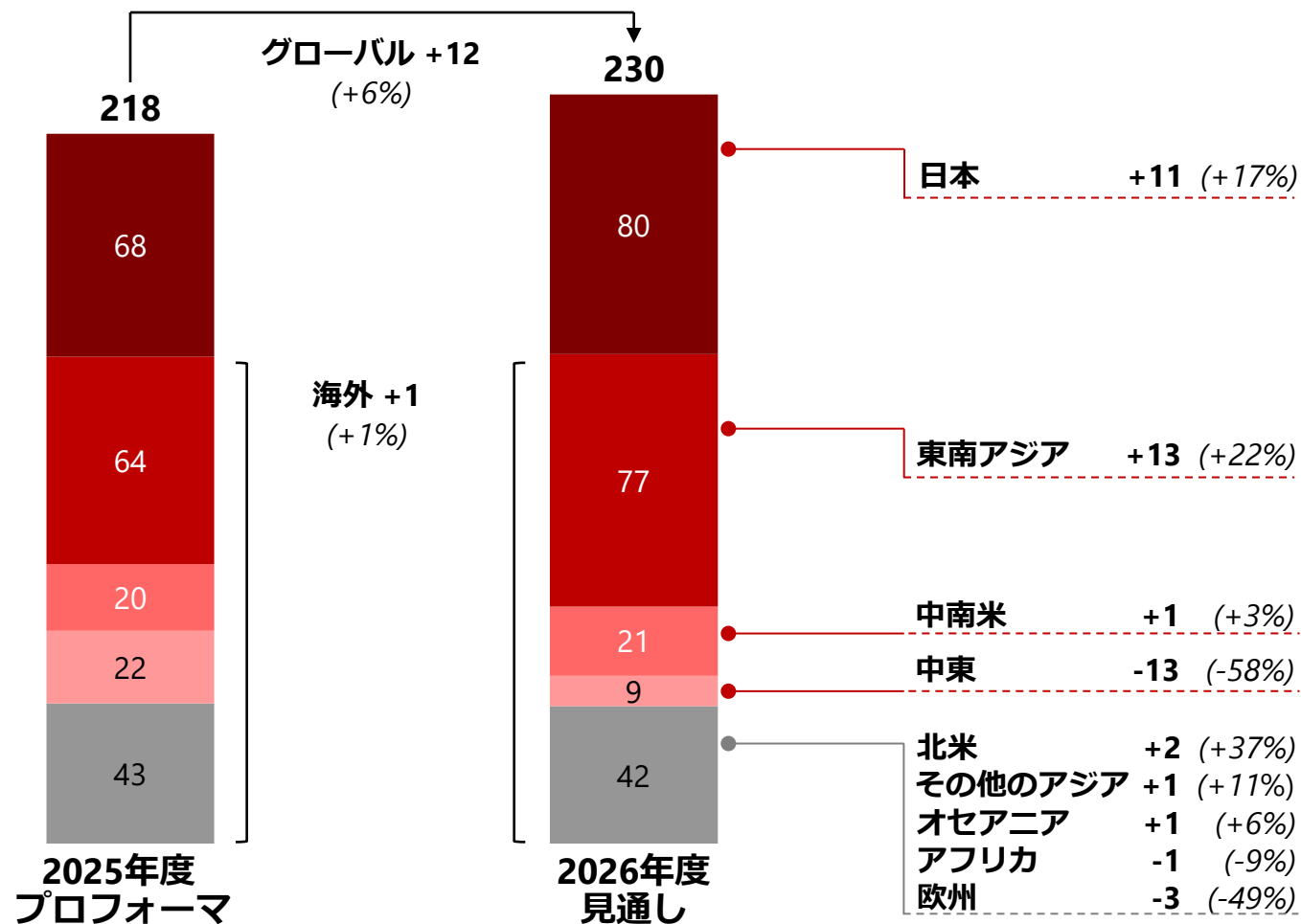
25年度
国内トラック総需要および
シェア(トラック>3.5t)
(登録台数 単位: 千台)



2026年度の連結売上台数は国内の台数回復により増加の見通し

連結売上台数¹

(単位：千台)



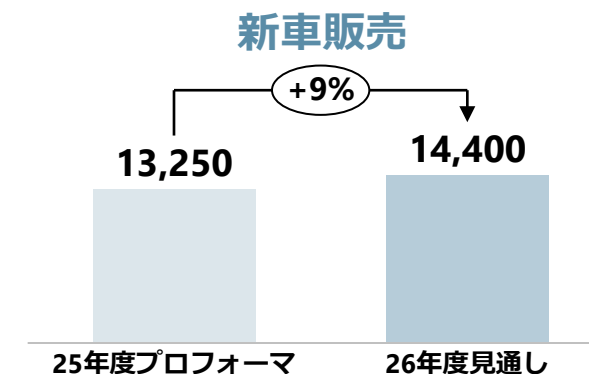
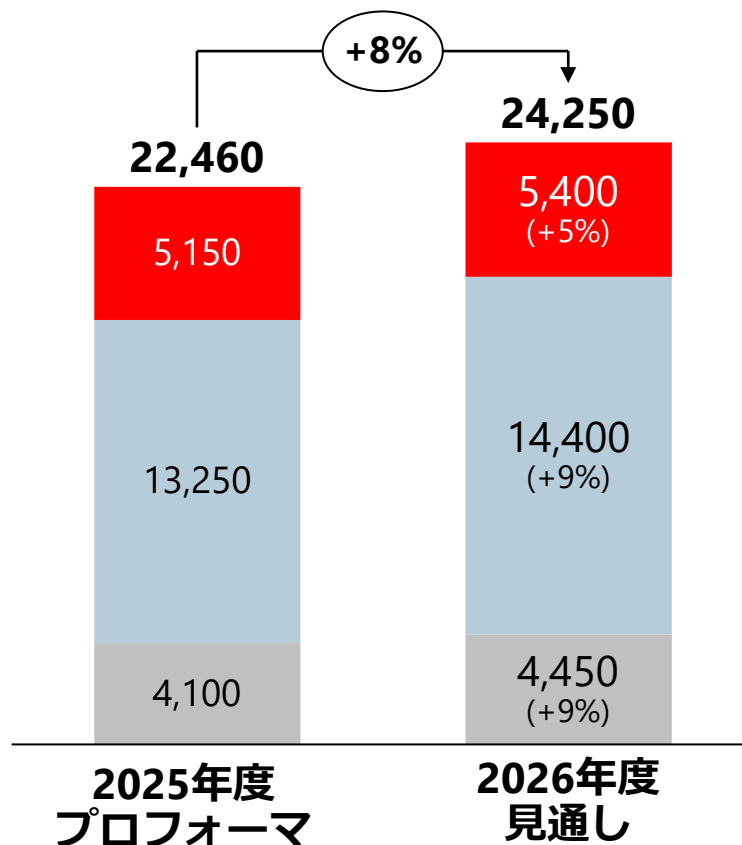
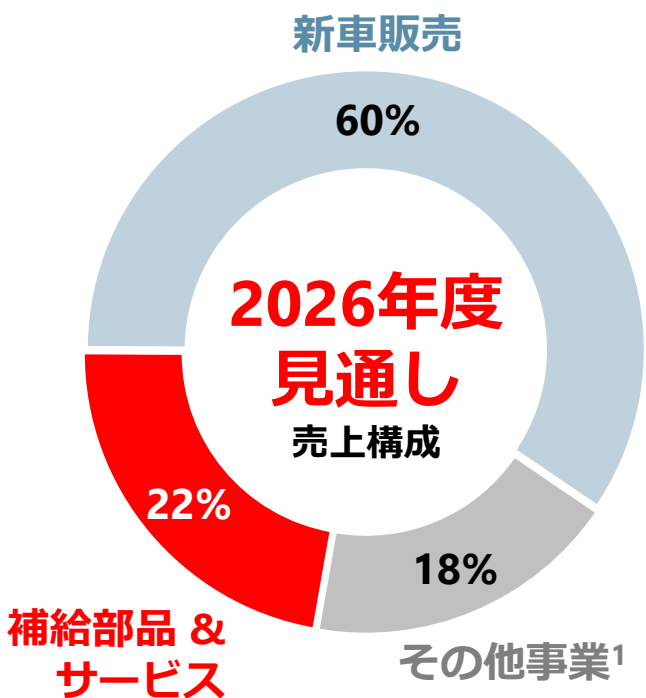
📈 ハイライト

- 主に日本の出荷再開に伴う台数の回復により、12千台増(+6%)
- インドネシア政府向け大規模受注(約20千台/年)により東南アジア地域は大きく増加
- 中東地域では、市場の混乱が継続し、売上台数も減少(-58%)の見込み
- その他の地域は欧州地域での減と北米地域での増が相殺され、やや減少(-1%)の見込み

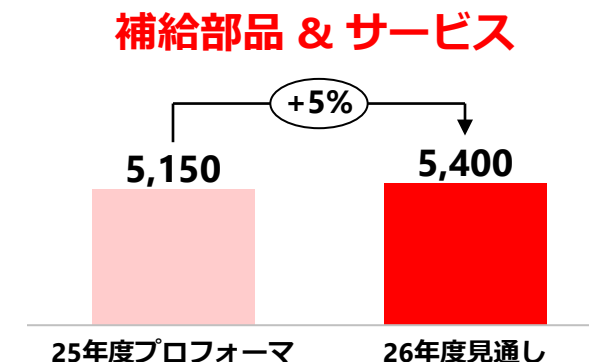
2026年度の売上高見通し：8%の着実な売上成長が見込まれる

事業別売上

(単位：億円)



➤ 販売数量の増加に加え、大中型の構成比上昇および為替レートの影響により、**大幅な売上増(+9%)の見込み**



➤ 日本を中心に**継続的な部品・サービス売上増(+5%)の見通し**

説明内容

日野自動車 2025年年度 連結決算実績(J-GAAP)

ARCHION 2026年度連結見通し対2025年度パフォーマンス (IFRS)

1. 事業概要

2. 通期見通し

参考資料

2025年度プロフォーマ調整(IFRS)と2026年度見通しについて



日野とふそこの財務諸表の合体

1

➤ 日野の2025年度(26/3月期)連結財務諸表を日本会計基準(J-GAAP)から国際会計基準(IFRS)に調整

15スライドを参照

➤ ふそこの連結財務諸表の決算期を2025年暦年(25/12月期)から2025度(26/3月期)に調整

参考資料 A-6 ~ A-7 を参照



プロフォーマ調整

2

経営統合前の影響

- 日野自動車 羽村工場のトヨタ自動車への移管
- 2026年4月1日 (一時的及び継続影響)
- 日野自動車の一部国内販売会社経営移管
- 2026年度第1四半期* (一時的及び継続影響)
- 被買収企業の日野自動車の資産および負債の時価評価(PPA) 他

参考資料 A-3 ~ A-4を参照

参考資料 A-3 ~ A-4を参照

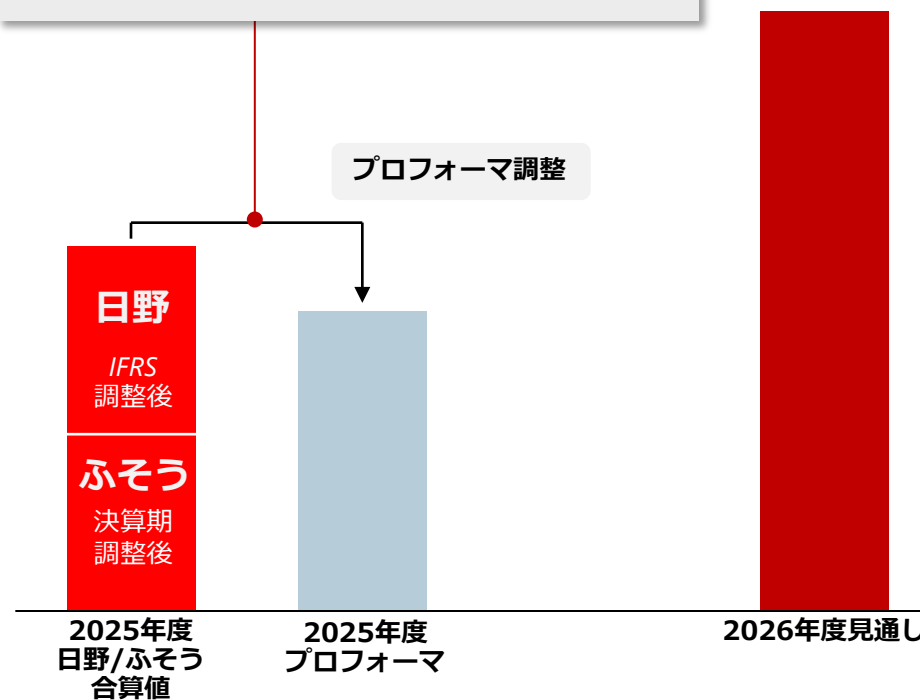
参考資料 A-5を参照

イメージ

Operating Profit

- 羽村工場移管(約160億円)
- 日野国内販売会社移管(約90億円)

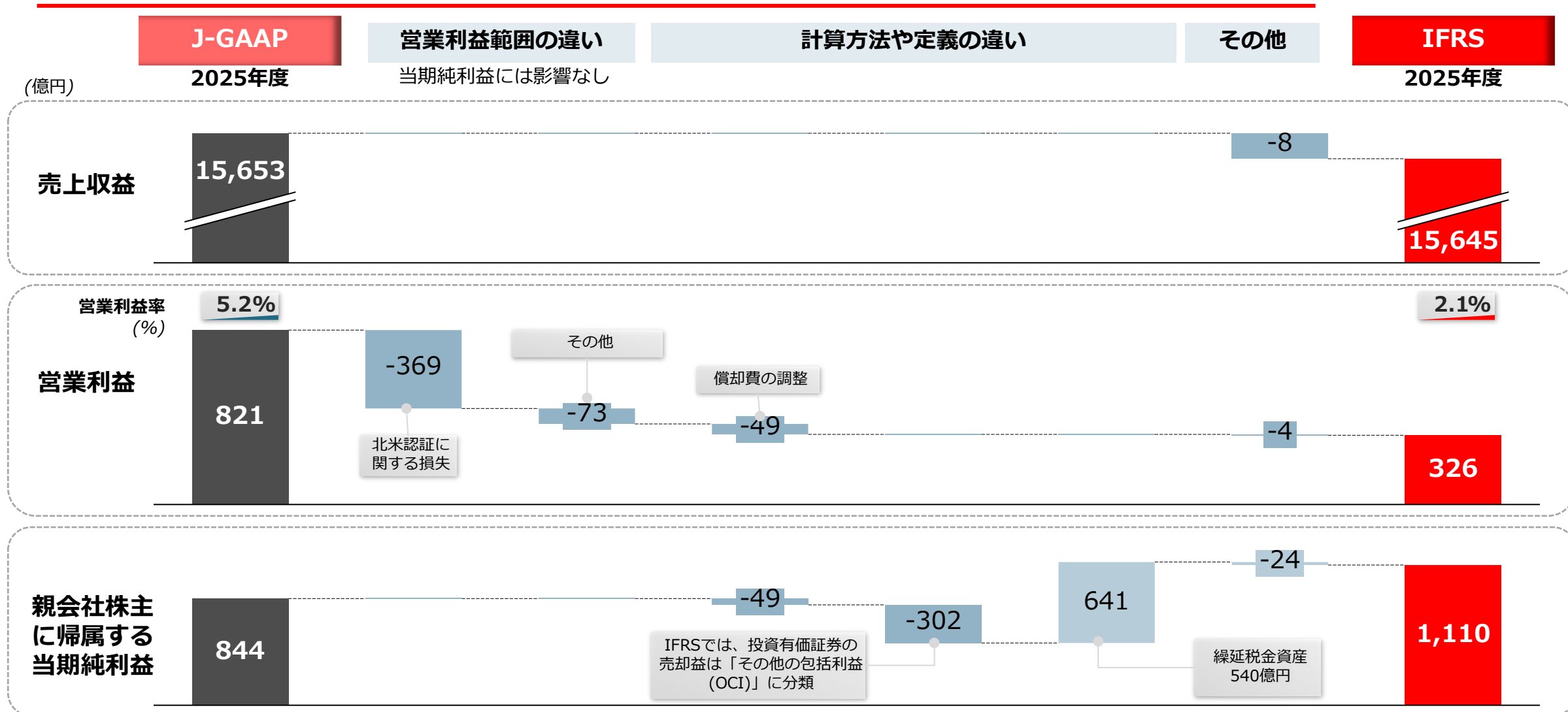
2



1

プロフォーマ財務諸表とは、特定の仮定や事象の下で企業の財務状況や業績がどのようになるかを示す、仮説に基づいた財務諸表です。本資料に含まれるARCHIONのFY2025のプロフォーマ財務諸表は、日野とふそこのFY2025の実績(未監査)を用いて作成される統合財務諸表(未監査)です。統合及び統合に関連する取引の影響はプロフォーマ調整として調整されています。

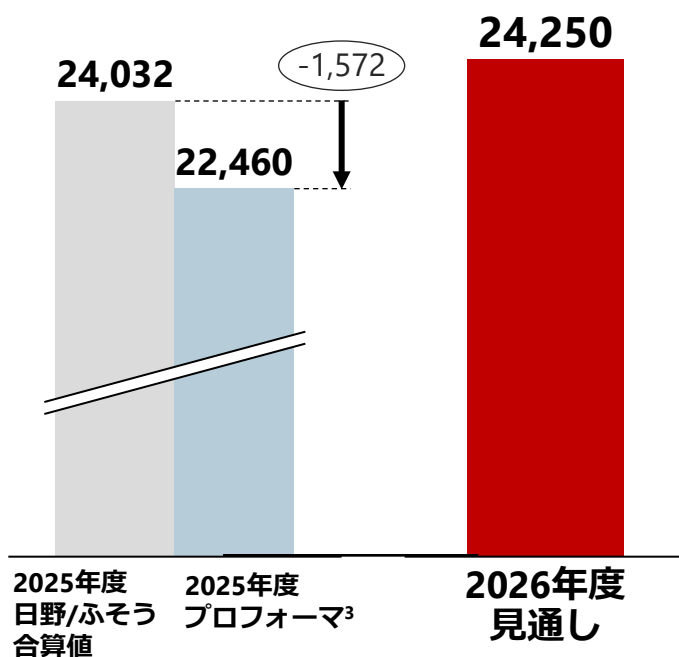
日野のJ-GAAPからIFRSへの調整(2025年度)¹



2025年度プロフォーマ調整と2026年度見通しのまとめ

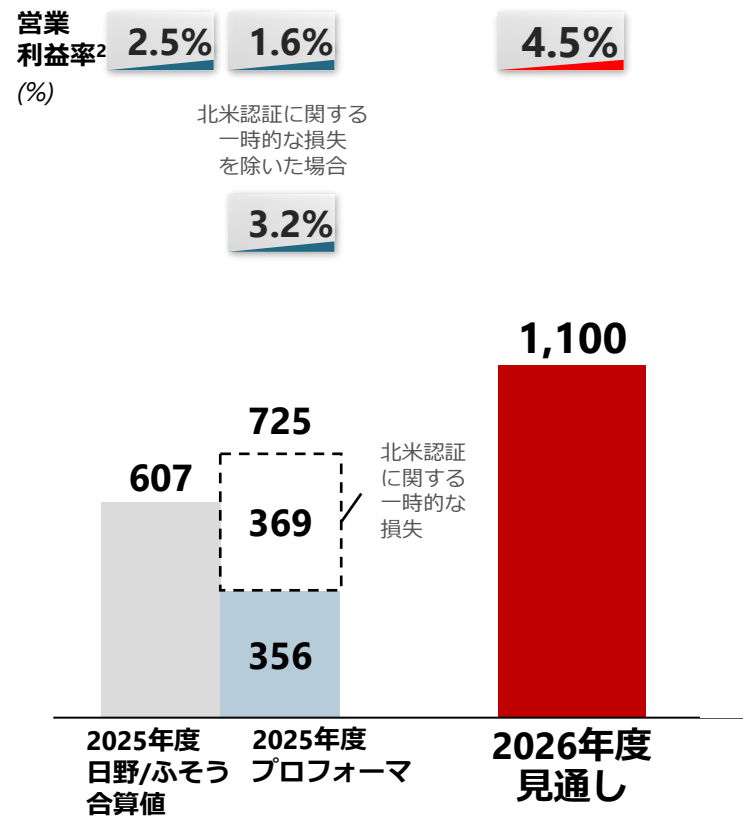
売上収益

(単位：億円)



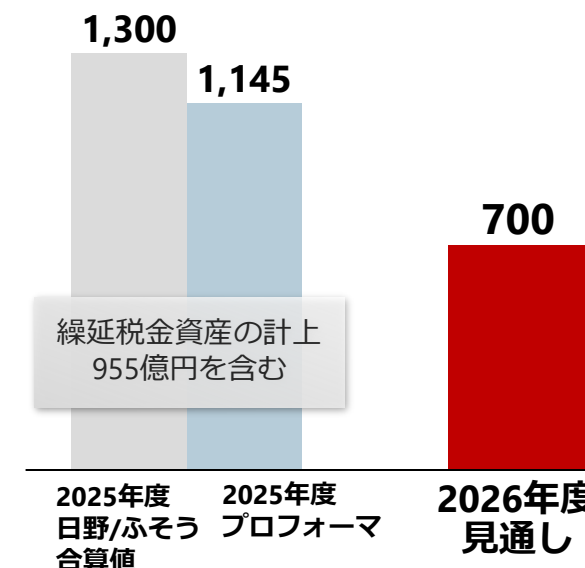
営業利益

(単位：億円)



当期純利益¹

(単位：億円)



¹ 親会社株主に帰属する当期純利益

² 売上高営業利益率(IFRS)

³ 参考資料 A-1 ~ A-5を参照

2027年3月期(2026年度) 主な指標に関する通期見通し

230

連結売上台数¹
(千台)

▲ +6% vs 25年度
2025年度: 218

24,250

売上高
(億円)

▲ +8% vs 25年度
2025年度: 22,460

1,100

営業利益
(億円)

▲ +52% (RoS +1.3%pts) vs 25年度
2025年度⁵: 725 | RoS 3.2%

4.5%
RoS²※
※売上高営業利益率

700

当期純利益³
親会社株主帰属
(億円)

2025年度⁴: 1,145

1 連結売上台数の定義については参考資料A-9を参照; 2 売上高営業利益率(IFRS); 3 当期純利益の見通しは負ののれん発生益を控除した数値; 4 プロフォーマ2025年度純利益には、繰延税金資産の認識に伴う特別利益が含まれています(参考資料A-2を参照); 5 2025年度プロフォーマから北米認証に関する特別損失369億円を除いた数値(参考資料A-3/A-4を参照); 6 全てIFRSに基づいた数値

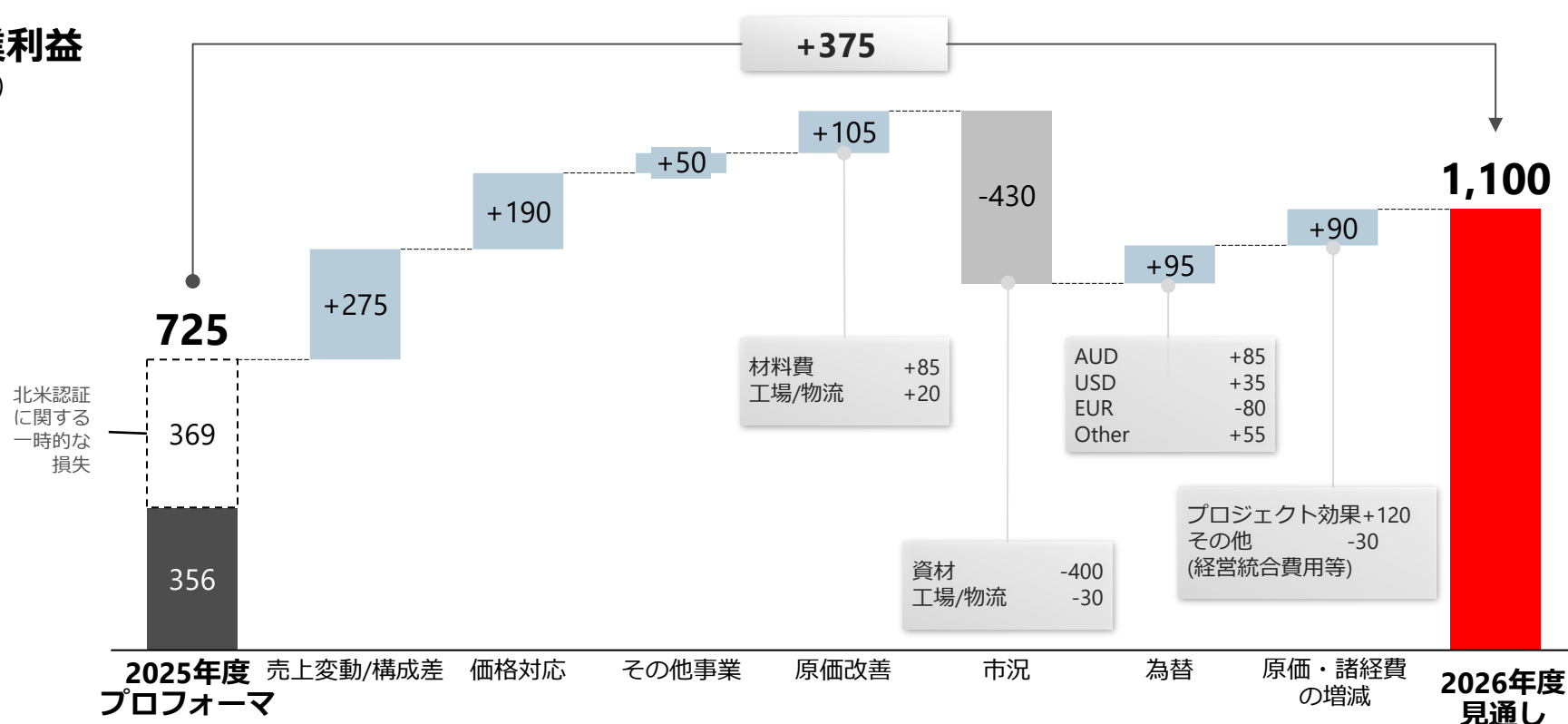
2026年度(IFRS) 営業利益見通し 増減分析 (対2025年度プロフォーマ)

連結売上台数 (千台)	218
売上収益 (億円)	22,460
営業利益率 ¹ (%)	3.2%

230
24,250
4.5%



営業利益 (億円)



ハイライト

- 2026年度の営業利益は1,100億円、2025年度プロフォーマ比375億円の増益となる見込み
- 日本市場での出荷再開による販売台数の増加、部品・サービス事業の継続的な成長、その他事業の好調が主な要因
- コスト面でのインフレ圧力が、価格対応、原価改善、為替による好影響を上回ると予想

中東情勢に起因する地政学的環境変化について引き続き注視

ARCHIONグループのプライオリティ

- 当該地域で活動する**従業員の安全確保**
- **お客様、サプライヤー、パートナーの事業継続**

世界全体の車両販売への直接的な影響は限定的



➤ 中東地域の
販売構成比は
約**10%**

26年度見通しの主な前提条件

インパクト

26年度車両/補給部品の中東地域への出荷減少（販売台数1万3千台減）

物流コストの増加

（運賃上昇、追加保管料）

原材料、エネルギー価格の高騰

- 引き続きサプライチェーン、生産、世界的な需要への**直接・間接的な影響について注視する**

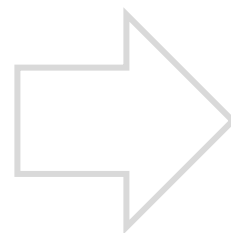
2026年度の見通し

ARCHIONは
初年度から
株主還元を実施

年間配当予想¹

8 円/1株

配当性向 約30% 相当



配当目標に向け
ステップアップ

中期配当政策

配当性向目標¹

40%



株主価値への
コミットメント

ARCHIONが目指す
将来の財務フレームワーク

キャピタルアロケーション(資本配分)については5月15日の
キャピタルマーケットデーにてご説明いたします

2026年度見通し概要(IFRS)

	25年度 プロフォーマ実績	26年度 見通し	変動 (%)
億円 もしくは記載の単位			
連結売上台数 (千台)	218	230	+12 (+6%)
売上高	22,460	24,250	+1,790 (+8%)
営業利益 ¹	725	1,100	+375 (+52%)
営業利益率 (%) ²	3.2%	4.5%	+1.3%pts
当期純利益 ³	1,218	770	-448 (-37%)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,145	700	-445 (-39%)
配当性向 1株当たり配当金(DPS)	-	約30% 8円	
為替 (円/通貨)			
USD	150	155	
EUR	175	184	
THB	4.62	4.93	
100 IDR	0.90	0.94	
AUD	96	113	
TWD	4.88	5.01	

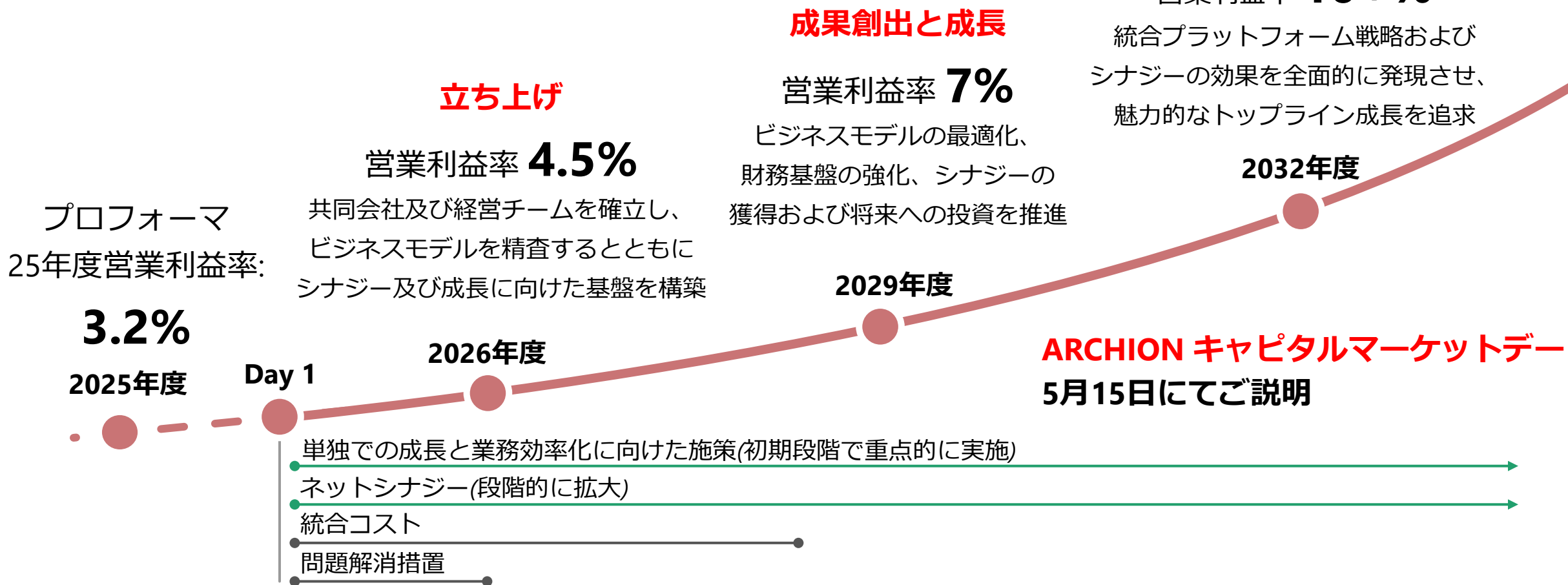
© ARCHION Corporation. All Rights Reserved. 1 連結プロフォーマ25年度ベース、北米における369億円の認証関連特別損失を除外(参考資料A-3/A-4を参照)。2 売上高営業利益率 3 プロフォーマ25年度当期純利益には、繰延税金資産の計上による利益が含まれる。26年度見通し当期純利益は、負ののれん発生益を除外(参考資料A-3/A-5を参照)。

初年度のARCHIONのフォーカスポイント

- ARCHIONグループの日野とふそうの統合は順調にスタート
- 製品とサービスの向上により、引き続きお客様のサポートに注力します
- ARCHIONは創業から堅実な財務基盤を維持します
- ARCHIONは株主価値の創造にコミットします
初年度から配当を実施します
- 統合による価値創出に向けた中長期のポテンシャルを追求します
- 組織・企業文化の統合を継続します

ARCHION は業界をリードするパフォーマンスを目指す

Illustrative representation only



注記: ARCHION営業利益率は対売上(IFRS)比率; Day1とはARCHIONの事業が開始された26年4月1日を指します
問題解消措置: 一部国内ディーラーの経営移管; 参考資料A-1~A-7を参照

ARCHION

CARRYING TOMORROW



5月15日に開催するARCHIONの**キャピタルマーケットデー**にて、
当社の財務フレームワークと
今後の戦略をご説明いたします。

連絡先

株式 & IR 部

+81 3-4218-2150

investor.relations@archion-group.com

ARCHION

説明内容

日野自動車 2025年度 連結決算実績(J-GAAP)

ARCHION 2026年度連結見通し対2025年度プロフォーマ (IFRS)

参考資料

目次

- A-1) プロフォーマ 連結貸借対照表
- A-2) プロフォーマ 連結損益計算書
- A-3) FY2025 プロフォーマ調整
- A-4) ARCHIONの調整後営業利益
- A-5) 企業結合に伴う暫定的な影響
- A-6) ふそう プロフォーマ | 2025年12月期から2026年3月期に調整
- A-7) ふそう 26年3月期 貸借対照表
- A-8) ふそう 営業利益 | 2024年12月期 vs. 2026年3月期
- A-9) 販売台数の定義

A-1 プロフォーマ 連結貸借対照表

(単位：億円)
 当連結会計年度
 *(2026年3月31日)

資産の部	統合後数値	Proforma調整	合計
流動資産：			
現金及び現金同等物	1,735	1,500	3,235
営業債権及びその他の債権	3,807	0	3,807
棚卸資産	4,406	0	4,406
売却目的で保有する資産	2,180	△ 660	1,520
流動資産合計	12,798	840	13,638
非流動資産			
有形固定資産	5,229	947	6,176
使用権資産	1,015	121	1,136
繰延税金資産	812	79	891
資産合計	22,062	1,851	23,913

負債資本の部	統合後数値	Proforma調整	合計
流動負債：			
営業債務及びその他の債務	3,575	0	3,575
借入金	2,843	0	2,843
リース債務	170	0	170
引当金	1,367	0	1,367
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	696	△ 208	488
流動負債合計	11,070	139	11,209
非流動負債合計			
借入金	250	0	250
リース債務	834	121	955
引当金	428	0	428
負債合計	13,171	564	13,735
親会社の所有者に帰属する持分	** 8,106	1,217	9,323
非支配株主に帰属する持分	783	71	854
資本合計	8,890	1,288	10,178
負債資本合計	22,062	1,851	23,913

自己資本比率 0.39

負債比率 0.45

* 当該残高には、統合完了直前の2026年4月1日に発生した調整が反映されています

** 当該残高には、負ののれん発生益2,421億円が含まれています

本ページに含まれる財務情報は未監査の数値であり、監査後に変更・修正される可能性があります

A-2 プロフォーマ 連結損益計算書

(単位：億円)

連結損益計算書	Mar 2026
売上高	22,460
売上原価 *1	18,830
売上総利益	3,630
販売費及び一般管理費	2,841
その他の収益	172
その他の経費	604
営業利益	356
+) 一過性項目を除外するための調整額 *2	369
調整後営業利益	725
金融収益	61
金融費用	215
持分法による投資利益	25
税金等調整前当期純利益	227
法人税 *3	(991)
当期純利益	1,218
親会社株主に帰属する当期純利益	1,145
非支配株主に帰属する当期純利益	72
・調整後営業利益	725
+) 減価償却費	903
調整後 EBITDA	1,628
・研究開発費	854

注記

- *1: 当該金額には、日野自動車開発費が含まれます
- *2: 当該金額には、北米認証に関連する損失が含まれています
- *3: 当該金額には、繰延税金資産 (DTA) の回収可能性向上を踏まえたDTA認識の影響が含まれています

本ページに含まれる財務情報は未監査の数値であり、監査後に変更・修正される可能性があります

A-3 FY2025 プロフォーマ調整

- 取得原価配分（PPA）による公正価値評価は、暫定的な評価および現在入手可能な情報に基づいており、追加情報の入手に伴い今後変更される可能性があります

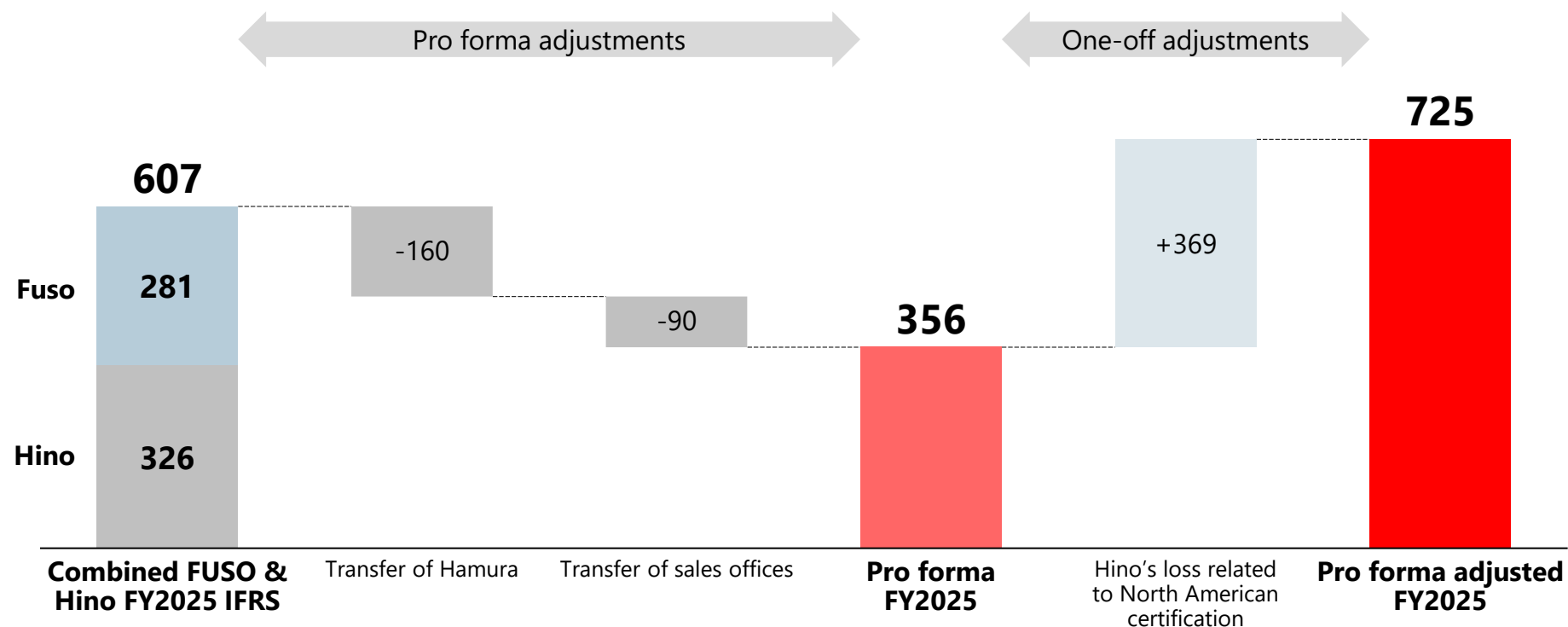
Pro forma adjustments	Descriptions
➤ 取得原価配分 (PPA)	<ul style="list-style-type: none"> 日野の識別可能な資産および負債は、取得日における公正価値に基づき測定されています
➤ 負ののれん発生益	<ul style="list-style-type: none"> 負ののれん発生益は、取得日における日野の時価純資産が移転対価を上回る金額として認識されます プロフォーマ上、負ののれん発生益は資本に直接計上しています
➤ 羽村工場のトヨタへの移管	<ul style="list-style-type: none"> 羽村工場の移管は、企業結合直前に実施されており、プロフォーマの調整項目としています 羽村工場の移管に伴う売却益は、日野の時価純資産に含まれ負ののれん発生益に影響を与えます 羽村工場の移管に伴う損益の影響は、プロフォーマの調整項目としています
➤ 日野グループの国内販売子会社の移管	<ul style="list-style-type: none"> 2026年度の第1四半期中に実施される日野グループの国内販売子会社の持分譲渡の影響は、取得原価配分（PPA）の一環としてプロフォーマの調整項目としています 取得原価配分（PPA）の一環として公正価値調整がなされ、負ののれん発生益に影響を与えます 日野グループの国内販売子会社の連結除外に伴う損益の影響は、プロフォーマの調整項目としています

A-4 ARCHIONの調整後営業利益

営業利益
(単位：億円)

RoS
(in %)

3.2%



本ブリッジは、日野およびFUSOの単純合算による2025年度IFRS実績に対し、プロフォーマ調整を加え、一時的な影響を除外した結果を示しています

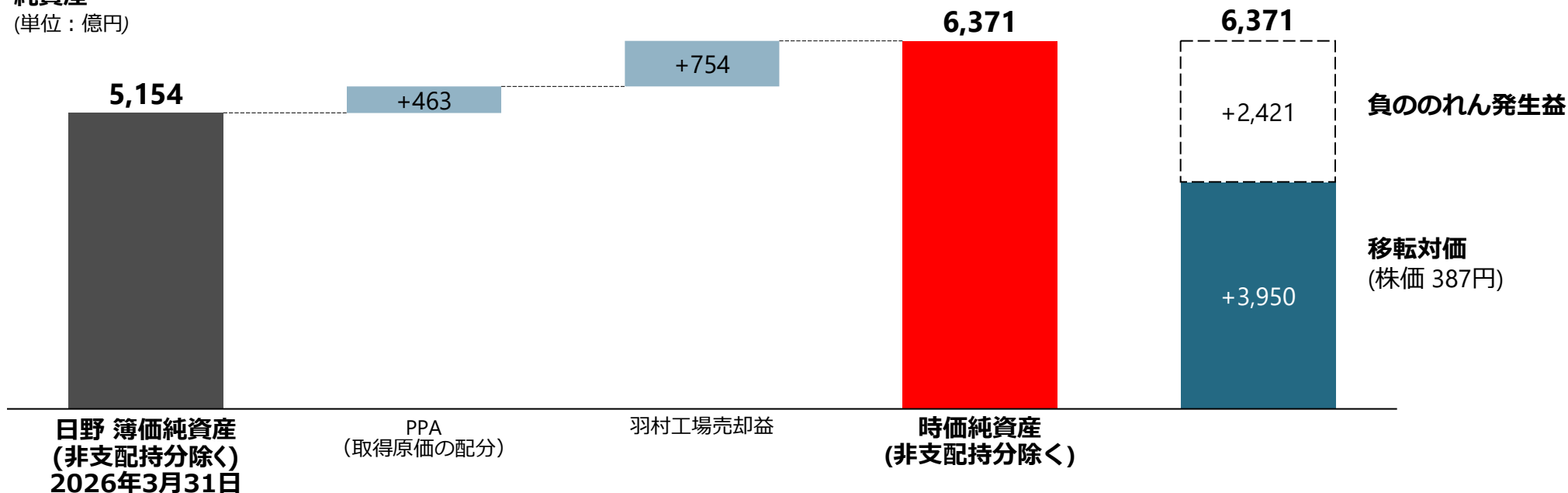
本ページに含まれる財務情報は未監査の数値であり、監査後に変更・修正される可能性があります

A-5 企業結合に伴う負ののれん発生益の影響

- ✓ 被取得企業である日野自動車の純資産(非支配持分(NCI)を除く)が、移転対価(日野自動車の時価総額)を上回ったため、負ののれん発生益を認識しています
- ✓ 公正価値の調整(“PPA”,取得原価の配分)は、評価及び分析が確定していないため、追加の情報が入手され次第さらに調整が入る可能性があります
- ✓ 以下の数値は暫定的なものであり、監査手続きの進行に伴い変更の可能性があります

純資産

(単位：億円)



A-6 ふそう プロフォーマ | 2025年12月期から2026年3月期に調整

(単位：億円)

ふそう	A = B - C + D			
	(A) 2026年3月31日	(B) 2025年12月31日	(C) 2025年3月31日	(D) 2026年3月31日
売上高	8,387	8,163	1,914	2,138
売上原価	6,812	6,606	1,547	1,753
売上総利益	1,576	1,557	366	385
販売費及び一般管理費	1,298	1,217	273	355 *1
その他の収益	40	46	33	27
その他の経費	37	39	10	8
営業利益	281	347	116	50
金融費用、純額	37	40	7	4
持分法による投資利益	16	10	2	8
税金等調整前当期利益	260	317	111	54
法人税	47	85	36	-2
当期純利益	213	233	76	56
親会社株主に帰属する当期純利益	199	228	74	45
非支配株主に帰属する当期純利益	14	5	2	11

本ページに含まれる財務情報は未監査の数値であり、監査後に変更・修正される可能性があります

A-7 ふそう 26年3月期 貸借対照表

(単位：億円)

資産の部	合計
流動資産：	
現金及び現金同等物	473
営業債権及びその他の債権	1,241
棚卸資産	2,078
売却目的で保有する資産	198
流動資産合計	4,155
非流動資産	
有形固定資産	1,524
使用権資産	634
繰延税金資産	96
資産合計	7,202

負債資本の部	合計
流動負債：	
営業債務及びその他の債務	1,235
借入金	1,100
リース債務	111
引当金	170
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	80
流動負債合計	3,384
非流動負債	
借入金	-
リース債務	566
引当金	86
負債合計	4,219
親会社の所有者に帰属する持分	2,937
非支配株主に帰属する持分	46
資本合計	2,983
負債資本合計	7,202

本ページに含まれる財務情報は未監査の数値であり、監査後に変更・修正される可能性があります

A-8 ふそう 営業利益 | 2024年12月期 vs. 2026年3月期

連結売上台数
(千台)

103

+4%

107

112

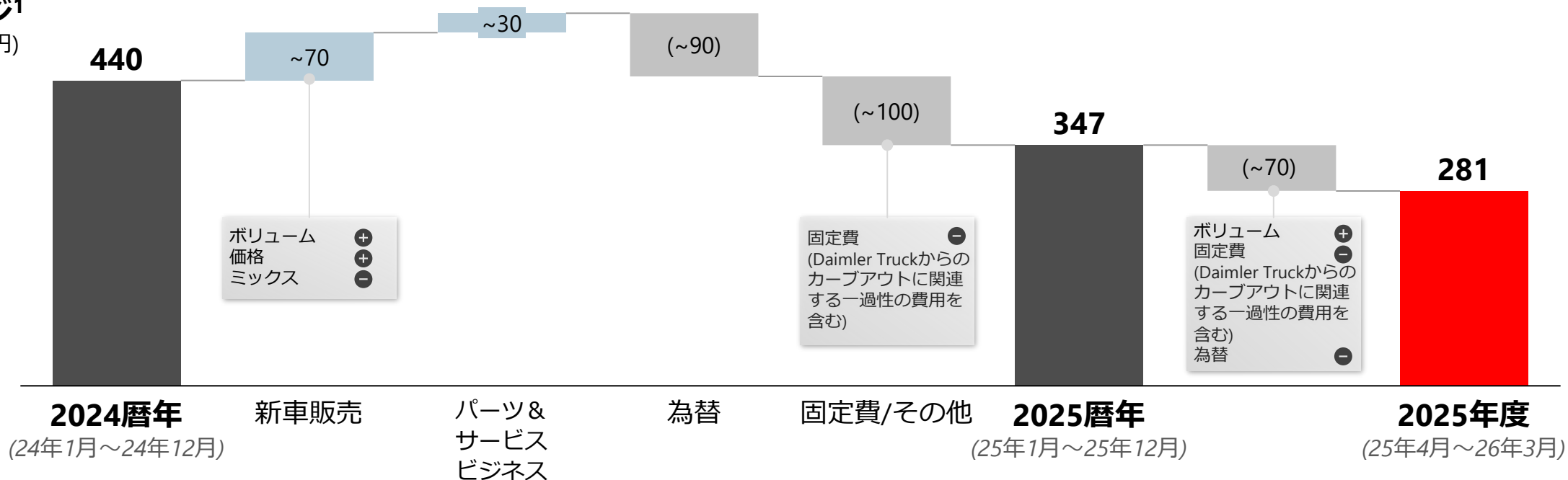
営業利益率
(%)

5.4%

4.3%

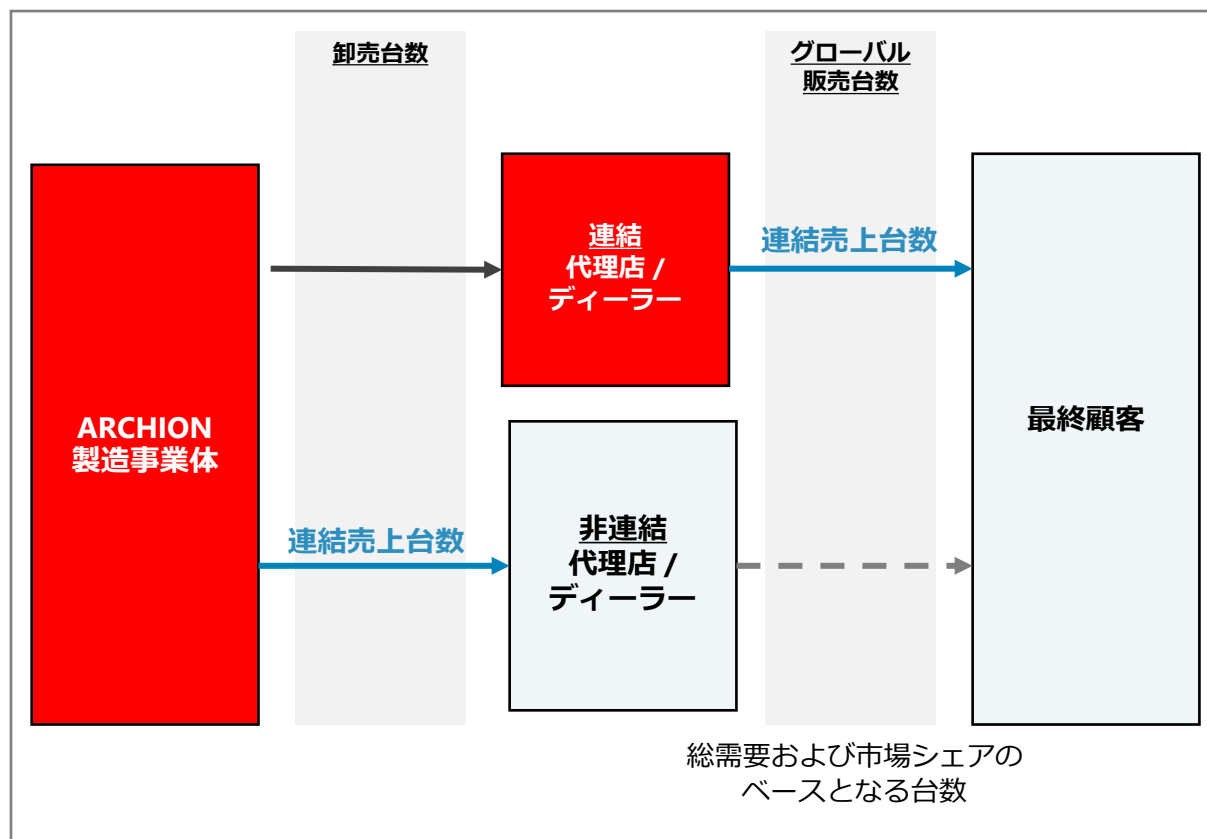
3.4%

営業利益
ブリッジ¹
(単位：億円)



本ページに含まれる財務情報は未監査の数値であり、監査後に変更・修正される可能性があります

A-9 販売台数の定義

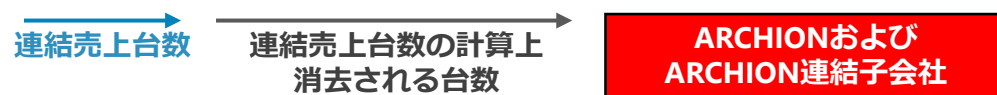


連結売上台数

定義: グループ内取引消去後のARCHION連結外へに売り上げた新車の台数(含む KD)。連結売上高に対応する数値。

グローバル販売台数

定義: ARCHIONグループの連結/非連結に関わらず、最終顧客に販売され、当該市場で登録された新車の台数(卸売は含まない)。



ARCHION
CARRYING TOMORROW